

[エッセイ]

修論指導をして

石村 喬

大学院での活動の大半は修士論文の指導に追われたので、ここでは、どのようにそれを行ったのかを記してみたい。私が担当したのはヴェトナム、タイ、台湾、日本の院生だった。これらの院生の指導で重要なのは、第1次資料と第2次資料の区別で、2次資料を読むうちに一次資料のどこかに自分で調査や比較ができそうな箇所を見つけることです。それができると自分独自の調査、研究ができるようになります。そのような方法で学生たちに修士論文を書きあげさせることができました。

石村 喬教授 略歴・主要業績

略歴

学歴

- |         |                         |
|---------|-------------------------|
| 1963年3月 | 栃木県立足利高等学校卒業            |
| 1963年4月 | 成蹊大学政治経済学部経済系入学         |
| 1967年3月 | 同大学卒業                   |
| 1967年4月 | 上智大学文学部ドイツ文学科学士入学       |
| 1969年3月 | 同大学卒業                   |
| 1969年4月 | 上智大学院修士課程文学研究科ドイツ文学専攻入学 |
| 1972年3月 | 同大学院 卒業                 |
| 1972年4月 | 上智大学院博士課程文学研究科ドイツ文学専攻入学 |
| 1975年3月 | 同大学院同課程単位取得満期退学         |

学位

- |         |      |
|---------|------|
| 1972年3月 | 文学修士 |
|---------|------|

主要職歴

- |                 |  |
|-----------------|--|
| 1972年7月～1973年3月 | 群馬大学非常勤講師  |
| 1974年6月～2001年3月 | 成蹊大学非常勤講師  |
| 1976年4月～1984年3月 | 上智大学非常勤講師  |
| 1981年4月～1987年3月 | 麗澤大学外国語学部講師  |
| 1987年4月～1994年3月 | 麗澤大学外国語学部助教授   |
| 1991年9月～1992年8月 | Friedrich-Schiller-Universität Jena (イエーナ大学)<br>交換教員 |
| 1994年4月～現在に至る   | 麗澤大学外国語学部教授  |
| 1994年4月～1998年3月 | 麗澤大学外国語学部ドイツ語学科主任                                    |
| 1998年4月～2006年3月 | 放送大学非常勤講師  |
| 2002年4月～2006年3月 | 麗澤大学外国語学部ドイツ語学科主任                                    |
| 2007年4月～2008年3月 | 麗澤大学外国語学部ドイツ語学科主任                                    |

所属学会等

- 1969年4月～現在に至る 日本独文学会会員  
1969年4月～1972年3月 財団法人ドイツ語学文学振興会雑誌「ひろの」編集委員  
1969年4月～現在に至る 日本独文学会教育部会会員  
1976年4月～現在に至る 日本ゲーテ協会会員  
1982年4月～現在に至る 日本18世紀学会・国際18世紀学会会員  
1991年4月～現在に至る IVG 会員（国際ゲルマニスト協会）  
1996年4月～1998年3月 財団法人ドイツ語学文学振興会ドイツ語技能検定試験・委員

### 主要業績

#### 著書

- 1980年3月 『セクション73』 共著 東洋出版  
1987年3月 『独文解釈の方法』 共著 大学書林  
1990年3月 『肚、人間の重心』（カールフリート・デュルクハイム著）共訳  
廣池学園出版部（2003年第2班、改訂版）  
1992年4月 『マイスター独和事典』 編者 大修館  
1995年3月 『ゲーテ時代の諸相』 共著 郁文堂  
1997年3月 『ハンディマイスター独和辞典』 編者 大修館  
2006年3月 『新マイスター独和辞典』 編者 大修館

#### 論文・その他

- 1974年12月 「教養小説の問題点」 単 上智大学ドイツ文学論集第11号  
1981年3月 「和独辞典の問題点」 単 シュプーレン第33号  
1982年7月 「K. Ph. モーリッツ、『アントン・ライザー』-その伝記的小説が開く地平-単 麗澤大学紀要第33号  
1985年12月 「ミュンヘン大学外国語としてのドイツ語研究科の状況」 単 麗澤大学紀要第40号  
1987年11月 「アンネリーゼ・クリンゲンベルク「革命と花崗岩-ゲーテの象徴表現の自然、歴史哲学的根源」」（論文翻訳）単 モルフォロギア・ゲーテと自然科学第9号  
1995年3月 「閉ざされたユートピア-モーリッツの二つの作品における試み-」 単 『ゲーテ時代の諸相』 所載 郁文堂  
1998年9月 「J. W. von ゲーテ『ヴィルヘルム・マイスター』-「修業時代」

における人間形成」単『心の教育実践講座』第5巻(尾田幸雄監修)  
所載 日本図書センター

1999年2月 「聴解(HV)促進の前提 -聴解処理作業の基盤としての理解と学  
習形態-」単 麗澤大学論叢 第10号

2000年3月 「人間の死後の存在形態-ゲーテ、シラーの場合-」単『文学に読  
む〈生と死〉』(岩元巖・中山理編)所載 ホソノスタンペリア

## 書評

1999年6月 「矢羽々 崇『詩人の個人性と社会性-ヘルダーリンの詩「追想-』』  
日本18世紀学会年報第14号

2001年6月 「田中岩男『ゲーテと小説、「ヴィルヘルム・マイスターの終業時  
代」を読む』』日本18世紀学会年報 第16号

## 発表

1988年10月 「モーリッツの芸術論」単 日本独文学会秋季研究発表会

1994年1月 “Über das Deutsch als Fremdsprache in Japan” 単 イェーナ  
大学 (Friedrich-Schiller-Universität, Institut für  
Auslandsgermanistik/DaF)

2007年6月 初修外国語学習者における学習チェックシートの試行 共同発表  
日本独文学会春季研究発表会

## 雑

1993年2月 「旅券盗難事件」単 月刊言語2月号 大修館

1997年3月 「正書法改正について」、「言語ジャーナル27(ドイツ)」、単 月刊  
言語3月号 大修館

## 共同主催ワークショップ (下線は主催者)

2006年9月21日 「外国語教育の視点からみた、望まれるドイツ語能力試験について」

参加者：Prof. Dr. Hermann Funk, Dr. Silvia Demmig, Regina Werner MA, 石村 喬

場所：Friedrich-Schiller-Universität Jena(イェーナ大学)、DaF・DaZ 研究室

研究・討議内容：ヨーロッパ基準の語学能力測定に基づく試験と英語能力試験(Toeic)

との差異、並びに、日本での語学能力試験の比較について。

2007年12月1日「Start Deutsch I/II について」

参加者：Jacob, Bernd (Goethe Institut, Tokyo)；

Lang, Claudia, Schuetterle, Holger, Krummeich, Raimund,

Mueller, Birgit, 山川和彦、林美帆、石村喬 (麗澤大学)

場所：麗澤大学外国語学部ドイツ語学科共同研究室

研修・討議内容：ヨーロッパ基準の語学能力に基づき、新たに創設されたゲーテ・イン  
スティトゥートの語学能力試験：“Start Deutsch I/II “ の試験内容についての研修  
会(試験監督資格取得)。

